



維新の改革で 大阪から日本を変える

日本維新の会 衆議院議員

なかつか ひろし

中司 宏

令和6年春号 vol.6
活動報告

令和6年の幕開けとともに発災した能登半島地震。日本維新の会はいち早く対策本部を設置し、被災地との連携を密に支援活動を展開するとともに、「身を切る改革基金」(右下欄参照)から、これまでに義援金7500万円を被災地に届けさせていただきました。

一方、自民党の“裏金問題”で極度に高まった政治不信を解消するため、日本維新の会は特別委員会の設置を提案しました。今後は、新たな特別委員会で、政治資金規正法の改正など抜本的な政治改革に取り組みます。同時に維新の会独自の「政治改革大綱」(下欄参照)を実行し、政治への信頼回復に努めます。

今国会の後半は、少子化対策や安全保障関連など重要法案の審議や、懸案の憲法改正の論議を促進。また、大阪では来年の万国博覧会開催に向けた環境整備や機運醸成を急ぎます。日本の国力を回復し、平和で豊かな地域社会を取り戻すため、国政の大改革を進めるべく、引き続き全力で頑張っています。



第213回 通常国会

なかつかひろし

維新の会 / 中司 宏 / 国政の動き

速やかな政治改革の断行を 本会議・委員会で論戦



自民党の政治資金問題で混乱のうちに始まった通常国会。冒頭の代表質問で日本維新の会の馬場伸幸代表は、岸田総理の政治姿勢に対し、「政治への信頼を取り戻すには実効ある改革が不可欠」と速やかな政治改革の断行を求めるとともに、岸田政権の「増税、国民負担増路線」を強く批判。

また、教育無償化・子育て支援、医療制度改革・医療DX、外交・安全保障、憲法改正などについて岸田総理や担当大臣の考えを質しました。

地方分権改革を推進し“地方の自立”を後押し

一方、中司宏議員は、地方税・地方交付税改正案に関し、本会議と総務委員会で松本総務大臣らに質問。能登半島地震の被災者の住民税雑損控除の前倒し実施を求めるとともに、▽定額減税による地方税減収分の国費補填▽臨時財政対策債の廃止と地方財政の充実▽市町村合併や、消防広域化への国の支援一など、地方分権改革を推進し、“地方の自立”を後押しする立場から政府の取り組みを質しました。

続くNHK予算案の審議に際しても、受信料軽減の立場から質問。これまで合わせて、中司議員の国会での質問は44回になりました。



審議促進へ、国会対策で他党と協議

政治改革問題で与野党が激しくぶつかる中、予算委員会をはじめ、しばしば国会審議がストップ。動かない国会を前に進め、審議を促進するのも国会対策委員会の役目です。

中司議員は国会対策委員長代理として遠藤敬国対委員長を支え、予算委員会・政治倫理審査会の開催や、政治改革を審議する新たな特別委員会の設置に向け、他党との協議などに奔走。今国会でも維新の会は国会対策の“かなめ”の存在としての役割を發揮しました。



維新版 政治改革大綱 (抜粋)

【政治資金改革】

- 企業・団体献金の完全廃止
- 旧文書通信交通滞在費の用途公開
- 政治資金パーティの抜本的見直し
- 政治資金に関する外部監査の導入
- 政治資金規正法等の罰則・規制強化

【選挙制度・国会改革】

- 議員定数の大幅な削減(30%目標)
- オンライン・デジタル化の推進

中司宏 プロフィール

- 昭和31年3月生まれ。父母ともに交野・私部出身で、父方の祖母が営んでいた助産所で産湯に浸かる。枚方で育ち、うみのほし幼稚園、市立殿二小、第三中学、府立寝屋川高校、早稲田大学卒。
- 昭和54年4月から産経新聞社記者。京都支局を経て東京本社政治部に。中曽根首相番、自民党田中派・竹下派等を担当し、精力的に国政の取材を行う。
- 昭和62年4月から大阪府議会議員。自民党枚方支部長、府連青年局長。平成7年5月から枚方市長。マニフェストを導入し市政発展に努める。府市長会会長、全国青年市長会会長等を歴任。
- 平成27年4月から大阪維新の会府議会議員として、党副政調会長、府議団政調会長、府議会私学振興議員連盟会長等を歴任。
- 令和3年10月から衆議院議員。現在、日本維新の会国会議員団代表補佐、国会対策委員長代理、党紀委員長、衆議院議院運営委員、総務常任委員会理事、情報監視審査会委員。

地元では、枚方市グラウンド・ゴルフ連合会、枚方市ラグビー連盟、枚方市ドッジボール協会、大阪交野リトルシニア野球協会、宮之阪中央商店街振興組合、牧野愛する商店会、津田サイエンスヒルズまちづくり協議会、樟葉南校区コミュニティ協議会等の各顧問、寝屋川高校北水会常任理事、枚方JCシニアクラブ会員、交野おりひめライオンズクラブ会員として活動。

日本維新の会 国会議員団「身を切る改革」

平成28年よりカット総額
約6億4000万円

歳費月額

2割カット

期末手当

3割カット

※その他、赤坂宿舎 家賃引き下げ分カット等
※昨冬の期末手当はさらに10万円カット

寄付実績

- 能登半島地震復興支援 7500万円
- ウクライナ人道支援 1億4990万円
- 東北4県・茨城県 原発処理水放出に係る風評被害対策 5146万円
- 岩手・宮城・福島県 東日本大震災復興支援 4200万円
- 台湾・花蓮地震(2018年) 地震復興支援 1000万円

大阪府議会 議員報酬 30%カット 議員定数 109人 → 79人 大阪市議会 議員報酬 約35%カット 議員定数 86人 → 70人

発行元

衆議院議員 中司宏事務所 〒573-0022 大阪府枚方市宮之阪 1-22-10-101

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1 衆議院第一議員会館 905 号室 03-3508-7146 03-3508-3636 072-898-4567 072-898-4568

活動はQRから
ご覧いただけます



2024年日本維新の会の挑戦

次期総選挙で与党過半数割れ・野党第一党へ!!

維新対談

日本維新の会 代表
衆議院議員
馬場伸幸
×
衆議院議員
中司宏

中司宏、今年、元日に能登半島地震が被災し、この一年の厳しさを予見するかのよう大変な幕開けとなりました。

馬場伸幸代表、すぐに対策本部を設置して現地の声をお聞きし、必要な対策に努めました。これまでに2回被災地を訪問し、議員歳費等をカットして積み立てた「身を切る改革基金」から義援金も届けさせていただきました。(表面参照) 復旧復興には時間がかかりますが、長期にわたって支援していきます。

中司、自然災害だけでなく、有事やパンデミックなど、本当にいつ何が起るかわかりません。国には十分な対応を求めています。いざという時に備えて、地域の防災訓練や講習会などを通して住民同士の絆を深め、意識を高めることも大事です。

今こそ、抜本的な政治改革を

馬場代表、国会は今、自民党の政治と金の問題で紛糾しています。予算委員会や政治倫理審査会で追及しましたが、真相はさっぱり分からないまま処分が行われ、国民の不信感は募るばかりです。今後は、維新の提案で設置された政治改革特別委員会で、政治資金規正法の改正など本格的な政治改革を進めます。

中司、維新の会では、政治への信頼回復に向けて「政治改革大綱」を策定し、他党に先駆けた抜本的な改革を打ち出しました。そこには、議員定数の削減なども盛り込んでいます。(表面参照)

馬場代表、維新の会がすでに先行して実施している旧文通費の使途公開を



衆議院 予算委員会 第八分科会(国土交通省関係)

中司宏議員は、予算委員会分科会で、長年取り組んできた課題として新名神高速道路、淀川舟運について斉藤大臣に質問しました。

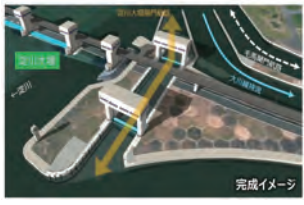


地元の皆さんと建設現場を視察

地元要望を受け騒音対策強化へ 新名神高速道路

遅れている八幡・京田辺～高槻間の整備促進とともに、NEXCO西日本との協議が難航している船橋地域の騒音問題に関し、地元要望に応じて遮音壁を拡充するなど、環境保全への対応を強く求めました。また、開通後のスマートインターチェンジ設置の検討に対する国の支援を求めました。

淀川大堰の閘門整備で舟運活性化へ 災害時の計画を策定



万博へのアクセスとなる淀川大堰の閘門が秋に竣工し、伏見から大阪湾まで船の往来が可能となり、沿川の活性化が期待されます。そこで、災害時の航路確保や船着き場の整備とともに、災害対応計画について質問。これに対し、物資輸送など災害時の舟運活用計画を策定する旨の答弁がありました。

はじめ、企業・団体献金の完全廃止、政治資金規正法の罰則強化や外部監査の導入といったかなり厳しい内容です。政治団体の会計責任者を議員本人にすることなど、できることから率先して取り組んでいきます。

大阪の政党から全国政党へ

馬場代表、おかげさまで代表に就任させていっただいて以来、多くの皆さんのお世話になりました。維新の会への期待感も広がり、手応えを感じています。去年の統一地方選挙で、目標の600議席をクリアすることができ、その後に行われた地方選挙も含めると、全国で約800議席を預かっています。



中司、統一選挙前には、党勢拡大に向けた全国キャラバンで、一緒に各地を回らせていただきます。訪問先では、各県庁や市役所とともに、必ず地元の新聞社を訪ねて維新の考えをお伝えし、街頭遊説で地道に維新の政策をアピールしました。

馬場代表、全国キャラバンを通して、大阪の政党と思われていた維新の会を全国政党に発展させる基盤をつくることや、政治への志を持つ方々の人材発掘にもつながりました。ある県でお会いした地元メディアの社長さんが、なんと中司さんの新聞記者時代の仲間だったと聞き、中司さんの人脈の広さにも感心しましたが。

中司、政治家をめざす人の中で、「維新を選ぼう方も増えてきました。一方で、まだまだ課題も多いと言えます。馬場代表、ふわつとした民意に支えられた政党なので、気を抜くと勢いはすぐに消えていきますから、新たに当選した若いメンバーをどう育てていくかが大事です。その点、ベテランの中司さんには、



いわば兄貴分のような立場で、若手議員を育てていきたいと思っています。

中司、自民党にはできない大胆な改革を進める「改革保守」という立ち位置を鮮明にしているから、保守層が根強い地域でも、維新の政策が次第に浸透してきているように感じます。

維新の挑戦はこれからが本番

馬場代表、維新は大阪で「身を切る改革」を本気でやって財源を生み出しました。一度、維新に期待してみようかな、という流れが各地で生まれ始めました。今、政治資金の問題に加え、増税や社会保険の増額など、国民に負担を押しつける自民党のやり方に疑問を感じる方々が増えてきています。その受け皿になるにはどうすべきかを考えないと。

中司、政治改革だけでなく、経済対策、少子化対策、安全保障問題、憲法改正など課題は山積しています。この国難ともいえる時代に、国会に議席をいただいている一人として、この国のあるべき姿を見据えて頑張ります。

馬場代表、先日、着実に建設が進む大阪・関西万博の会場を議員団で視察しました。160か国が交流するこの世界最大のイベントをぜひとも成功させ、最先端の技術を世界に発信することは非常に意義のあることだと思います。

中司、東京一極集中を解消して、大阪を日本の副首都にすることも大きな目標です。

馬場代表、来るべき総選挙で「与党過半数割れ」「野党第一党をめざし、日本を大改革するため、ひたすら走り続けます。維新の挑戦はこれからが本番です。一緒に頑張りましょう。



地元の府議・市議と各地で開く報告会は、大切な意見交換の機会です。行政の動きを伝え、一緒に地域の課題解決に取り組みます。



季節ごとに各地で催されるイベントやお祭りは、地域の皆さんとの大切な交流の場。積極的に参加して様々な声をお聴きしています。



各地で行われる防災訓練への参加は、安心安全の第一歩。訓練を通して防災意識を高め、助け合い支え合う地域の絆を深めます。



地元の保育園の卒園式に出席し、保護者の皆さんに挨拶。深刻な少子化に歯止めをかけるため、子ども施策に全力で取り組みます。

心でつなぐ 中司宏の活動

安心安全で豊かな街へ

日本維新の会 大阪11区(枚方市・交野市)の特別党員



衆議院議員 中司宏、枚方市長 伏見隆、大阪府議会議員 岡沢龍一、大阪府議会議員 岩本ゆうすけ、大阪府議会議員 みよしかおる、枚方市議会議員 かじや 知宏、枚方市議会議員 せのお正信、枚方市議会議員 高野ひさのり、枚方市議会議員 泉大介、枚方市議会議員 岡ういじろう、枚方市議会議員 門川ひろゆき、枚方市議会議員 小池あきこ、枚方市議会議員 大浜ようすけ、枚方市議会議員 さたあゆみ、枚方市議会議員 しほ直哉、交野市議会議員 岡田ともまさ、交野市議会議員 堀天地、交野市議会議員 岡田ちさと